

虫ケアステーションとは

虫媒介感染症のリスクを紹介し、虫よけ剤の正しい使い方を啓発するためのアース製薬オリジナルのブース。

当ブースでは、虫よけ剤の正しい使い方を伝え、蚊やマダニ等の害虫の被害症例も展示することで、虫ケア啓発を行う。

【イメージ】



ヒトスジシマカ

シマシマ模様 昼間に活動

生息場所
全国に生息。身近な茂みや水陰に潜む。

特徴
デング熱やジカ熱の病原体を人から人へ媒介する危険がある。
デング熱とは 発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、嘔吐、下痢、まれに出血傾向がある。
ジカ熱とは 発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、嘔吐、下痢、発疹

【展示パネル・チラシ例】

虫よけ剤の正しい使い方

- ① 腕、足など露出部分に約15cm離してから噴霧する。
- ② 顔、首筋には手のひらに噴霧してから、ムラができないように塗る。
※汗で流れるので頻りに塗り直す
- ③ 塗りムラのないように伸ばして塗り広げる。

塗りムラなくしっかり塗ることが大事!

ディート(有効成分)

塗りムラがないとき

成分が肌を覆れているため虫が肌を感知できない

ディート(有効成分)

塗りムラがあるとき

成分が覆れていないすき間を虫に狙われる

そのマダニ ウイルスをもっているかも?

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

注意 近年増加中! 春と秋は特に注意!
4月~10月にマダニの活動が活発になります。

森・草むら・公園・庭など

効果的な対策

肌を露出しない服装

帽子、タオル、長袖、長ズボン、靴、スニーカー

虫よけ剤の正しい使い方

1. 髪や顔に塗らない
2. 顔に塗らない
3. 顔に塗らない

※マダニは皮膚に刺さると、皮膚科で取り除く必要があります。マダニに咬まれた場合は、患部を清潔に保ち、医師の指示に従ってください。